

小中学校における熱中症対策等について

伊賀市教育委員会 教育総務課

1. 背景

近年、全国的に記録的な暑さが続いており、熱中症が懸念される中、児童生徒の安全を守ることは重要な課題と捉えています。また、保護者や地域の方から熱中症対策の実施について問い合わせを多数いただいていることから、現状と対策についてご報告します。

2. 市内小中学校の熱中症対策について

(1) 現状

①登下校時の負担軽減

- ・タブレットの持ち帰りは最小限
- ・教科書等は必要なものだけを持ち帰る

②下校時

- ・休憩しながら帰るよう児童へ声掛け
- ・日傘や帽子の使用を推奨
- ・水筒に氷水を持たせる

(2) 新たな取組

- ・市内の小学校に2学期から試験的に冷却グッズを冷却するための冷凍庫を設置
- ・徒歩での通学距離が長い市内小学校4校に設置
- ・利用状況の把握、児童や保護者、学校からの意見を聴取、課題等の検証を行う
- ・検証結果を踏まえ、全ての学校への設置について検討を行う

| 設置予定校 | 通学距離 | 全校児童数 | 設置予定数 |
|--------|--------|-------|-------|
| 壬生野小学校 | 3.4 km | 149 人 | 3 台 |
| 中瀬小学校 | 3.2 km | 86 人 | 2 台 |
| 阿山小学校 | 2.8 km | 214 人 | 3 台 |
| 柘植小学校 | 2.5 km | 119 人 | 3 台 |

※通学距離は現在の通学団の集合場所からの距離であり、スクールバス運行基準となる距離ではありません。

(3) 検証方法について

- ・児童、保護者アンケートの実施
- ・学校アンケートの実施

(4) 来年度に向けた対応について

- ・利用状況や児童、保護者の感想や意見などを集約し、適正配置、効果的な活用につなげる
- ・学校現場の課題を集約し、効率的な運用を行う